



Tokyo Gakugei University Repository

東京学芸大学リポジトリ

<http://ir.u-gakugei.ac.jp/>

| | |
|------------|---|
| Title | 2020年度 東京学芸大学附属高校研究活動（研究会・講演会・国際交流活動）一覧(fulltext) |
| Author(s) | |
| Citation | 研究紀要 / 東京学芸大学附属高等学校(58): 1-4 |
| Issue Date | 2021-03-01 |
| URL | http://hdl.handle.net/2309/166742 |
| Publisher | 東京学芸大学附属高等学校 |
| Rights | |

2020年度 東京学芸大学附属高校 研究活動（研究会・講演会・国際交流活動）一覧

List of academic researches and activities of the school (2020)

1. 第19回 公開教育研究大会

日時：令和2年11月7日（土）

※新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止のため、オンラインで実施した。

研究主題：

「学習評価」を軸としたカリキュラム・マネジメント(2)
～観点別評価の導入に向けた教育活動の改善～

公開授業

| |
|---|
| <p>国語科 国語総合（現代文） 森安惟澄 『対話型思考のデザイン』－省察によるブレイクスルー－ 日本の学校教育では、相手の言葉に同意する「加算方式の話し合い」が多かったのではなからうか。情報を構造化し、前提を疑い、価値観を覆すことで、「対話的思考」をデザインする、新しい話し合い型授業を提案する。</p> |
| <p>地理歴史科 日本史A 加藤 将 近代国家の形成と国際関係の推移－日清・日露戦争と植民地形成－ 歴史総合の開始を見据え、近現代の世界とその中の日本を相互的な視野から捉える授業を提案する。具体的には、条約改正や日清・日露戦争前後の対外関係に着目し、日本を中心とした植民地の形成について考察させたい。</p> |
| <p>公民科 現代社会 山北俊太郎 トロッコ問題・再考－新学習指導要領『公共』に向けた思考実験の取り扱い方を探る－ トロッコ問題は有名な思考実験である。しかし有名になりすぎた結果、本来この思考実験が持つ哲学的なエッセンスが失われて一人歩きしているのではないか。トロッコ問題をどのように取り扱うべきか、再考したい。</p> |
| <p>数学科 数学Ⅱ 田中満城子 常用対数の利用 日常にみられる事柄に着目し、なぜそのようなことが起こるのかという疑問の解決のために、対数をどのように用いることができるか、用いることによって何がわかるのかを探っていく。</p> |

| |
|--|
| <p>理科 生物基礎 大谷康治郎 生物基礎における「指導と評価の一体化」を目指したカリキュラムづくり 毎年実施している光学顕微鏡による「細胞の観察」を中心に、生物基礎における授業・指導・評価の流れと、カリキュラムづくりについて提案する。</p> |
| <p>理科 地学基礎 齋藤洋輔 地学基礎における「指導と評価の一体化」を目指したカリキュラムづくり 毎年実施している「岩石の観察」を中心に、地学基礎における授業・指導・評価の流れと、カリキュラムづくりについて提案する。</p> |
| <p>家庭科 家庭基礎 衆原智美 SDGs と非常事態下の食事 緊急事態宣言のもと、学校での調理実習の実施もなくなり、例年実施している調理メニューをそれぞれの家庭で必要に応じて材料をアレンジして実施。手に入れやすい食材の話から非常時の食事を考え、SDGsに繋げる授業とする。</p> |
| <p>外国語科 コミュニケーション英語Ⅰ 加藤 淳 「教科書で」学ぶ意義・「教科書を」読む意義を高めるための4技能5領域統合型授業実践 主体的な学び・自分ごととしての学びが一層求められる中、教科書は能動的な学習のための素材となり得ているだろうか。学習者の視点から、教科書で学ぶ意義、教科書の英文を読む意義を高めるための、4技能5領域統合型の授業実践について提案する。</p> |

研究協議会

| |
|---|
| <p>国語科 森安惟澄・若宮知佐 対話型授業の可能性－学びのメタ認知－ 助言講師 渡辺貴裕 東京学芸大学教職大学院教育実践創成講座准教授</p> |
| <p>地理歴史科 加藤 将・小林理修 アジアの近代をどう捉えるか 助言講師 國分麻里 筑波大学人間系准教授</p> |

| |
|--|
| <p>公民科 山北俊太郎</p> <p>思考実験を通じて得られる哲学的な学びの「評価」法を探る—私たち教師自身が「評価」について考えを改めねばならないことは何か—</p> <p>助言講師 村瀬智之 東京工業高等専門学校准教授</p> |
| <p>数学科 数学科</p> <p>深い学びの実現と、思考力、表現力、判断力の育成およびその評価</p> <p>助言講師 西村圭一 東京学芸大学大学院教育学研究科教授</p> |
| <p>理科 理科</p> <p>「指導と評価の一体化」を目指した理科のカリキュラムづくり</p> <p>助言講師 藤田剛志 千葉大学教育学部教授</p> |
| <p>家庭科 泉原智美</p> <p>コロナ禍の中の学校における実習のあり方を考える</p> <p>助言講師 小玉敏也 麻布大学生命・環境科学部教授</p> |
| <p>外国語科 加藤 淳</p> <p>4 技能 5 領域統合型の授業実践</p> <p>助言講師 白倉美里 東京学芸大学教育学部准教授</p> |

講演会

| |
|---|
| <p>新学習指導要領の趣旨を生かした評価のあり方</p> <p>講師 石井英真 京都大学大学院教育学研究科 准教授</p> |
|---|

後援 東京都教育委員会

2. 授業実践研究会

今年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止のため、実施しなかった。

3. 第 62 回 全附属高等学校部会研究大会

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止のため、来年度以降に延期となった。

4. 令和 2 年度東京学芸大学附属学校現職教員
研修講座開講一覧

| |
|--|
| <p>(全科)「授業公開」★ 授業期間中随時</p> <p>(国語)「高校国語科における演劇の鑑賞指導」★ 令和 2 年 10 月 7 日</p> <p>(地歴)「地理における野外実習の実際」★ 令和 2 年 6 月 1 日 東京都心部 (旧江戸城外濠跡周辺)</p> <p>(数学)「数学的活動を促す授業づくり」■ 令和 3 年 3 月 26 日</p> <p>(理科)「夏期特別実験講座物理 体験講習会」★ 令和 2 年 7 月 9～11 日 「夏期特別実験講座化学 体験講習会」★ 令和 2 年 7 月 9～11 日 「地学科公開研究会野外 観察講座」★ 令和 2 年 10 月 27・29 日 城ヶ島 (神奈川県)</p> <p>(公開教育研究大会) 「第 18 回公開教育研究大会」■ 令和 2 年 11 月 7 日</p> <p>(SSH) 「スーパーサイエンスハイスクール事業報告会」■ 令和 2 年 3 月 17 日</p> |
|--|

★印は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止のため、実施しなかった。■印は、感染拡大防止のため、オンラインで実施した。

5. 東京学芸大学附属学校研究紀要

第 48 集 (令和 3 年発行予定)

研究部 (研究推進) (共同研究)

「コロナ禍におけるオンラインでの公開教育研究大会」

6. 国際交流来校・派遣

| |
|---|
| <p>①タイ王国 プリンセス・チュラポーン・サイエンス・カレッジ チェンライ校 (PCSHSCR) との交流プログラム ★ 令和 2 年 4 月 20 日 (月)～27 日 (月) タイ王国より受け入れ</p> |
| <p>②イオン 1%クラブ主催 日中ティーンエイジアンバサダー訪日 ★</p> |
| <p>③イオン 1%クラブ主催 日中ティーンエイジアンバサダー訪中 ★</p> |

④タイ王国 プリンセス・チュラポーン・サイエンス・カレッジとの交流プログラム ★
 令和3年1月
 タイ王国へ派遣
 このプログラムについて、当初はオンラインでの交流を協議したが、学校行事や時差などの関係で調整ができず、動画を視聴し合い、意見交換を行うという方法に変更した。現時点で以下の2つの事業を予定している。
 (1)各校の研究成果に関する動画を相互に視聴し、意見交換を行う交流を実施する。
 (2)東京学芸大学主催 SSH/SGH/WWL 課題研究成果発表会で動画による発表を実施する予定。

★印は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）感染拡大防止のため、実施しなかった。

7. 講演・SSH 関係事業および 特別授業等

宇宙人文学講座
 「宇宙人文学とは何か・宇宙人文学研究(1)～(3)」講義
 令和2年7月27日、11月28日、令和3年1月23日
 その他随時オンライン（メール等）で実施。
 参加生徒 26 名
 京都大学宇宙ユニットシンポジウム参加予定 ■
 令和3年2月13日（土）～14日（日）

オンラインレクチャー
【東京工業大学高大連携プログラム】 ■
 「ゆでたスパゲッティはなぜ立たない」
 五十嵐規矩夫氏（東京工業大学教授）
 令和2年7月30日（木）
 参加生徒 33 名

全国 SSH 生徒研究発表会 ■
 令和2年8月7日（金）～28日（金）
 「衛星リモートセンシングを活用した神奈川県相模原市の歴史とこれからの探究」ポスター発表賞受賞
 参加生徒 1 名

かずさ DNA 研究所主催「かずさの森 DNA キャンプー高校生を対象としたハイレベル生命科学講座ー」
 令和2年8月19日（水）～21日（金）（2泊3日）
 参加生徒 1 名

日本植物学会第84回大会（名古屋大学）高校生ポスター発表 ■
 令和2年9月12日（土）
 「納豆菌と乳酸菌を用いた抗菌・抗カビシート」の作成」
 参加生徒 1 名

「生命誌から生命科学の明日を拓く」 ■
 令和2年9月12日（土）
 山中伸弥氏・永田和宏氏・中村桂子氏
 参加生徒 23 名

東京工業大学サマーチャレンジ
【東京工業大学高大連携プログラム】
 令和2年9月12日（土）～13日（日）
 参加生徒（選抜）10 名

オンライン医学部ガイダンスにおける講演 ■
 「働く女性のワークライフバランス」
 國松志保氏（西葛西・井上眼科病院副院長）
 令和2年9月26日（土）
 参加生徒 47 名

オータムレクチャー・飛び出せ工学君！
【東京工業大学高大連携プログラム】
 「高校数学を駆使して「カム機構」を創る」
 岩附信行氏（東京工業大学副学長）
 令和2年10月10日（土）
 参加生徒 19 名

日本経済新聞社主催講座
 「あなたが考える解決すべき社会課題とは何ですか？
 あなたならそれをどのように解決したいですか？」
 吉野彰氏（旭化成（株）名誉フェロー）
 令和2年10月12日（月）
 参加生徒 37 名

東北スタディツアー 2020「震災復興とまちづくり」★

ノートルダム清心女子高等学校主催・集まれ！理系女子第12回女子生徒による科学研究発表 web 交流会 ■
 令和2年11月7日（土）
 「衛星データを用いた鎌倉の地形の考察」奨励賞受賞
 参加生徒 1 名

「小脳からみる脳科学と情報科学」 ■
 令和2年11月11日（水）
 本多武尊氏（東京都医学総合研究所運動障害研究室主任研究員）
 参加生徒：生物 A 履修者 32 名

「写真・資料を使用した環境教育一年月を経て変化する河川環境を学び考えるー」 ■
 令和2年11月20日（金）～30日（月）
 真山茂樹氏（東京学芸大学理科教員高度支援センター専門研究員）
 参加生徒：生物基礎演習履修者 75 名

| |
|--|
| ベルギー大使館主催 STEM 分野と女性の活躍 Great Visionaries 令和2年11月21日(土) 参加生徒5名(女子生徒対象) |
| ノーベル賞受賞者を囲むフォーラム～次世代へのメッセージ～「知の継承～リチウムイオン電池への道」 令和2年11月28日(土) 参加生徒20名 |
| 韓国文化講座 「K-POP 講座」 ソ・ミョンファン氏(東京韓国教育院) 令和2年11月28日(土) 参加生徒11名 |
| 東京都 SSH 生徒研究発表会 令和2年12月20日(日) 口頭発表「皿状構造の形成過程についての考察」 参加生徒2名 |
| SSH 第12回マスフェスタ(全国数学生徒研究発表会) 令和2年12月26日(土) 「天の赤道上の最も明るい方向を予想する～機械学習を用いた太陽光発電の効率化」 発表1件, 参加生徒3名 |
| 留学生授業 ★ 2年生の授業に参加し英語でディスカッションを行う。 |
| 東京学芸大学主催 SSH/SGH/WWL 課題研究成果発表会 ■ 令和3年2月23日(火) |
| コンピューター利用教育学会 CIEC 春季カンファレンス 2021 U-18 発表 ■ 令和3年3月20日(土) ポスター発表3件 応募生徒5名 |
| 高校生のためのポスターセッション 2021 in 京都大学【京都大学高大接続プログラム】 令和3年3月20日(土)～21日(日) 「二枚貝の水質浄化作用とそれに起因する殻形成への影響」 参加生徒1名 |
| 関東近県 SSH 指定校合同発表会 ■ 令和3年3月21日(日) |

★印は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止のため、実施しなかった。■印は、感染拡大防止のため、オンラインで実施した。



マスフェスタ・発表風景



宇宙人文学・講義風景



韓国文化講座・実技風景



飛び出せ工学君・講義風景